

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	谷川改修事業	会計	一般会計	事業No.	590	施策順No.	46-007
		事業種別	政策・重点	予算科目	8-3-3-11-2		
政策	4 暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり			課等名	土木課		
施策	46 活気ある街づくりの推進			事業期間	開始	21	終了

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	市街地に居住する人、来街者						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		市民数:人		106630	105691	105036	107000	
	意図	安全安心な都市河川として整備する						
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	進捗率%(当年度までの整備延長/全体計画延長)			15	36	36	50	A
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	東和町線道路改良と中央公園再整備に先立ち、改修工事が計画どおり順調に実施できた。							

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	市街地の中央公園内に在る都市下水路「谷川」について、東和公園から吾妻公園までの区間を、公園整備事業と併せて整備し、周辺住民の安全安心の確保を図る。 整備計画作成延長L=600m、うち今回改修延長L=300m		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 谷川(中央公園東和町・吾妻町部分)の改修工事 2 谷川(県道横断部分)の改修工事(21→22繰越明許)	1 改修延長 2 改修延長	1 L=125m 2 L=89m
23年度実施計画	谷川(中央公園東和町・吾妻町部分)の改修工事	改修延長	L=119m

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項 (国)社会資本整備総合交付金(市街地整備)(交付対象事業全体で4.5/10) (地)合併特例(充当率95%) (そ)繰越金 21→22繰越明許費24,885千円
	国庫支出金		31,575	31,575	16,650	
	県支出金					
	起債		37,000	37,000	20,000	
	その他		686	686		
	一般財源		1,249	1,190	1,150	
計(A)		70,510	70,451	37,800		
	正規職員所要時間			300		
	臨時職員等所要時間					
	人件費計(B)			1,073		
	トータルコスト A+B			71,524		

4 事業に対する市民や議会の意見

<ul style="list-style-type: none"> <li>豪雨の度に溢水するため、公園整備と併せて谷川改修の地元要望も多い。</li> <li>プール跡地の暫定的な多目的広場整備工事実施の際、地元からは谷川の未整備について指摘があり、中央公園改修時に谷川改修の必要性が生じた。</li> </ul>
---

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	中心市街地に人や物が集まり活気がある。	施策の成果指標又はムトス指標	中心市街地に住んでいる人数
この事務事業は施策の目的達成にどのよう に貢献しましたか	4年間の振り返り	中心市街地活性化基本計画に基づき東和町道路改良、中央公園再生整備に併せて谷川改修事業を実施している。		
	後期に向けた課題	中心市街地活性化基本計画に基づき平成24年度までに完成させる。		
この事務事業の成果を向上させるためにどの ような工夫をされましたか	4年間の振り返り	東和町道路改良、中央公園再生整備に併せて実施することで成果を向上させる。		
	後期に向けた課題	中心市街地活性化基本計画に基づき平成24年度までに完成させる。		
コストを削減するためにどの ような工夫をされましたか	4年間の振り返り	東和町道路改良、中央公園再生整備に併せて実施することでコストを削減できている。		
	後期に向けた課題	中心市街地活性化基本計画に基づき平成24年度までに完成させる。		
受益者負担の程度、市が関 与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	市が管理する市街地の重要な都市下水路であり、市で整備することが妥当		
	後期に向けた課題	市が管理する都市下水路であり、今後も市が管理する。		
多様な主体の役割の 発揮状況 ①その主体は誰で、 どのような役割を果 たしましたか。 ②その主体が役割を 発揮するために、行 政はどのような働き かけをしてきました か、又は、配慮して きましたか	4年間の振り返り	市が管理する都市下水路である。		
	後期に向けた課題	今後の市で管理することが望ましい。		
全体を通じて	4年間の振り返り	公園の中央部を流れる谷川は、以前から豪雨の際の溢流被害があり、安全確保の為に整備の必要性が指摘されていたため、その改修事業が進むことにより安全安心な施設に改善できた。		
	後期に向けた課題	近年のゲリラ豪雨など異常降雨に対応する施設として重要であり、住民の安全確保を図る。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	-----------------------------------